

平成30年度学校給食地場産食材使用状況調査の結果について

○ 調査方法等

(1) 調査対象

県内公立小中学校の全ての学校給食施設 170施設

(2) 地場産食材使用率算出方法（食品数ベース）

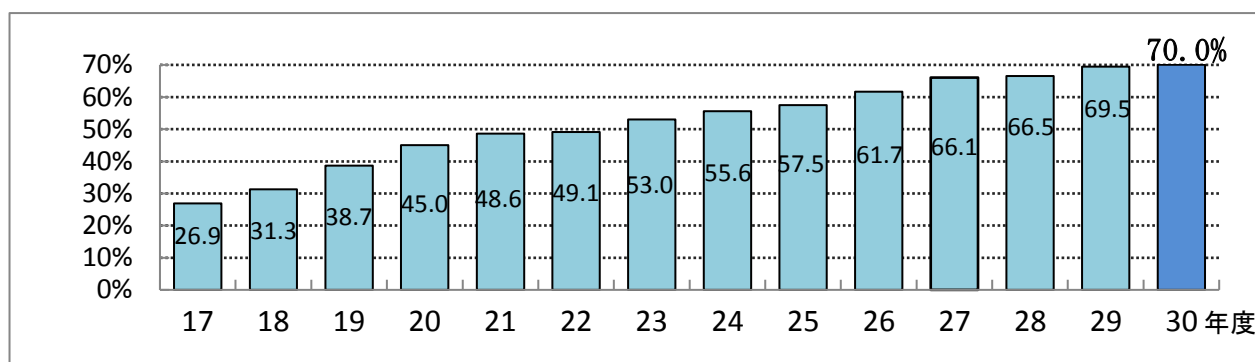
使用率（%）＝（山口県産食品数 ÷ 全使用食品数）× 100

(3) 調査期間

各学期において県教委が任意に指定した5日間（計15日間）

○ 調査結果の概要

(1) 地場産食材使用率 70.0%（対前年度比 0.5ポイント増）



(2) 食品分類別の使用率

	使用率 [前年度比 (ポイント)]		使用率 [前年度比 (ポイント)]
牛乳・乳製品	96% [+1]	その他野菜類	71% [+5]
穀類	92% [±0]	魚介類	66% [-5]
豆類	79% [-2]	緑黄色野菜類	61% [±0]
果実類	71% [-2]	きのこ類	66% [+7]
獣鳥肉類	80% [-2]	いも及びでんぷん類	38% [+2]

(3) 各市町における県産品の使用率

使用率	市町数	市町名
70%以上	12	宇部市、山口市、萩市、下松市、長門市、柳井市、 美祢市、山陽小野田市、周防大島町、田布施町、 平生町、阿武町
70~50%	7	下関市、防府市、岩国市、光市、周南市 和木町、上関町

(4) 市町の主な取組事例

市町名	取組事例等
長門市	○県農林水産事務所、市農林課、JA長門大津、市場、給食センターによる情報交換会議を年数回開催し、給食で使用率の高い人参の生産について協議。地元生産者の協力により、俵山で試験的に栽培を始め、収穫した約3tを11月から3月まで毎月給食で使用した。